

平成 28 年度臨床教育看護師育成プログラム

【臨床教育看護師とは】

看護の質向上のために、看護師と看護学生に教育的にかかわる臨床の看護教育者である。

I. 臨床教育看護師育成プログラムの目的

臨床教育看護師に期待する能力を強化する。

II. 臨床教育看護師に期待する能力

1. 看護観・倫理観・専門的知識に基づいて的確に判断し、熟練した看護技術を提供する。
2. 教育的視点を持って看護師や看護学生とかかわる。
3. 看護実践を通して役割モデルを看護師や看護学生に示し、看護の魅力を伝える。

III. 育成プログラム

臨床教育看護師に期待する能力を強化するために、二つの学習プログラムを設定する。

1. 自身の看護実践の質向上のために、臨床判断力を強化するためのプログラム
2. 部署全体の看護の質向上に向けて、部署の看護師の学びをサポートする力を強化するためのプログラム

1. 自身の看護実践の質向上のために、臨床判断力を強化するためのプログラム

到達目標	1. 自己の実践を分析し、人間観、健康観、環境観とともに看護観を概念化する。 2. 看護実践場面を振り返りながら、看護の意味や価値を見出し、次の看護実践につなげる方法を習得する。
------	--

到達目標 1 自己の実践を分析し、人間観、健康観、環境観、看護観の概念化する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第 1 回	看護の質とは何かを検討する。	1. 講義：看護の質 2. 対話 テーマ「自部署における看護の質」について考える。
第 2 回 ～ 第 5 回	実践における看護理論の活用について考える。	1. 講義：看護理論とは 2. 個人ワーク／発表／対話 看護理論がどのように実践に移せるのかを自身の事例を展開することで理解を深める。
第 6 回 ～ 第 9 回	事例をもとに、各自が看護の何を大切にしているかを、対話を通して分析する。	1. 個人ワーク／発表／対話 2. テーマ「看護実践においてわたしが大切にしていること」を記述し、各自の大切にしている部分を分析し、なぜ、大切にしているのか、それは看護実践においてどういう意味あるいは価値をもつのか、対話を通して、それぞれの認知フレームを変更していく。そのプロセスで、各自が、その大切にしている部分の根底にある、自身の人間観、健康観、環境観、看護観を見出し、それを概念化し、レポートを作成する。

到達目標 2 看護実践場面を振り返りながら、看護の意味や価値を見出し、次の看護実践につなげる方法を習得する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第 1 回	倫理的思考・批判的思考について理解する。	1. 講義：倫理的思考・批判的思考について
第 2 回 ～ 第 7 回	倫理的思考、批判的思考について、リフレクションによる事例検討を通して学ぶ。	1. 個人ワーク／発表／対話 倫理的問題のある事例を記述し、対話によって倫理的思考、批判的思考について理解を深める。
第 8 回 ～ 第 11 回	熟練した看護技術を提供するために、「経験から学ぶ」方法を学ぶ。	1. 講義：看護過程と看護診断 2. 個人ワーク／発表／対話 自身が検討したい看護実践の場面の事例を記述し、対話によって、実践の積み重ねの中から、経験が活かされたことを考える。
特別講義	看護の専門性について	講義：外部講師

1. 部署全体の看護の質向上に向けて、部署の看護師の学びをサポートする力を強化するためのプログラム

到達目標	<p>1. 成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、職場における看護師の学びのサポート体制とは何か理解する。</p> <p>2. 部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の質向上のための計画を立案する。</p>
------	--

到達目標 1: 成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、職場における看護師の学びのサポート体制とは何か、理解する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回 第2回	リフレクション・対話について理解する。	1. 講義: よりよい看護実践をサポートするために要請される「リフレクション」「対話」とは何か
第3回 ～ 第5回	成人教育・経験学習について理解する。 教育評価、評価について理解する。 対象者理解、対象者の立場に立ったサポートについて理解する。	1. 講義: 成人教育・経験学習・教育評価について 2. 個人ワーク／発表／対話 自身と他者(看護師)との関わりの中で「伝えたいことが伝わらなかった」と思う場面を、プロセスレコードに記述し、対話によって自分の傾向、対象者を理解すること、対象者の立場に沿ったサポートとは何か理解を深める。
特別講義	看護師教育の現状と課題、看護教育カリキュラムについて、看護継続教育の意義について理解する。	1. 講義: 看護師教育の現状と課題、看護教育カリキュラムについて、看護継続教育の意義について

到達目標 2 部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の看護の質向上のための計画を立案する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回 ～ 第4回	自部署の看護の質向上という視点で、自部署の課題について他部署と比較検討する。	1. 院内留学前 課題の提示: 自部署の看護の質について考えるために、課題を明確にし、発表する→留学先の部署へ事前にその課題を提示する。 2. 院内留学(他部署で1日勤務をする) 3. 院内留学後 院内留学の課題についてまとめ、発表する。
第5回 ～ 第14回	部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の看護の質向上のための計画を立案する。	1. 個人ワーク／グループワーク 部署の看護師の学びをサポートする視点で、部署全体の看護の質向上のための計画を立案する。 2. 発表／対話 それぞれが立案した計画を、対話を通して洗練させる。